

令和3年度 湖西市文化財保護審議会

－ 会議録 －

日 時 令和3年4月28日(水) 10時30分～12時10分
会 場 湖西市立中央図書館2階 学習研修室

○出席者

委 員	◎渡辺 和敏	
	○牧野 茂	
	平野 克典	
	後藤 建一	
	片山 愛司	
	小林 浩二	
事務局	渡辺 宜宏	湖西市教育長
	山本 信治	湖西市産業部長
	松山 智次郎	湖西市文化観光課長
	鈴木 紀子	湖西市文化観光課 係長
	大須賀 広夢	湖西市文化観光課 主事

◎：会長 ○：副会長 傍聴人：0名

1 開会

2 あいさつ

渡辺教育長

3 事務局紹介

4 議案 「浜名湖新居町沖湖底遺跡群」の指定について（令和2年度継続審議）

委 員：諮問に移る前に、別件で要望がある。まず、今年度から湖西市の文化財の所管が教育委員会から市長部局へ移動しているが、文化財を守ることを第一に活動していただきたい。また、コロナ禍で市内の無形民俗文化財が危機的状況にさらされており、十分注意をしていただきたい。

今回の指定に関する調書については、前回の文化財保護審議会で内容自体は完成しており、文面のみ修正が必要であった。今回の調書では前回指摘した点を修正していただいているが、他にも数点修正したほうが良い箇所があるので挙げていく。まず、物件概要について、数点加筆・修正が必要な箇所がある。また有識者所見で述べられている出土点数と今回の諮問物件の点数が一致していない。関連文献についても年号が西暦表記となっているが、和暦に直した方が良いと思われる。また、昨年度季刊考古学に掲載された論文も関連文献に加えるべきである。

委 員：有識者所見の点数については一致させたほうが良いか。

委 員：有識者が上げた点数には今回指定外となった遺物も含まれており、その結果差が生じているのかもしれないのでその場合は修正は必要ない。

委 員：出土した骨角器について、資料の指定物件一覧表には「銚」と表記されているが、柄の部分は出土していないので「銚先」などと表記したほうが良いのではないか。（後日調べたところ骨角器の場合は一般には「銚頭」と表記されている。）

事務局：今回ご指摘いただいた点については後日修正を行う。

5 答申

委員：答申書の物件名に二重で同じ括弧が使われているため、どちらかを違う表記に改めたほうが良い。

事務局：修正を行い、後日答申に会長のサインをいただく。

6 指定文化財候補物件の現地確認（岡崎中学校 窯跡）

（事前に室内で窯跡が保存されることとなった経緯について説明を行う。）

事務局：今回の窯跡は岡崎中学校建設の際に調査され、3地点で合計21基の窯跡が発見されている。保存状態が良く、市有地に所在していたため、そのまま現地で地中保存されている。指定後の保存整備上の課題としては、継続的な樹木の伐採・草刈の必要性、窯を露出展示するための施設整備、私有地の買い上げ等が挙げられる。

委員：窯跡が発見された当時文化庁の調査官にも現地を見ていただき、その際に国指定の史跡とするならば、市内にあるさまざまな時代の窯跡複数個所をまとめて「湖西窯跡群」として指定する必要があると指摘を受けた。

委員：この窯跡の特長とはどのような点にあるか。

委員：第一に規模が大きく、古墳時代から中世までの広い時代の窯が残っている点が挙げられる。次に市有地にある点で、整備が比較的行いやすいメリットがある。また、岡崎中学校に隣接しており、アクセス面が他の窯跡と比較してよい点も特長である。

（現地に移動し、窯跡の位置や規模について確認を行う。）

委員：整備する場合、元が山林なのである程度は舗装しないと草刈の手間が多くかかってしまう。

委員：維持するのもお金がかかるので、整備事業はある程度の規模の範囲を一度に行わなければならない。また、市内の窯跡の多くが破壊されてしまった中で、岡崎中学校の窯跡については良好な状態で保管されており大変貴重であるため、ぜひ整備していただきたい。

委員：窯跡を展示する場合は覆屋が必要になるが、近隣では二川に同様の施設がある。簡素な施設ならば、それほど費用もかからないのではないか。

委員：中学校に近いという立地上、窯跡だけを展示するのではなく付帯するような体験施設も必要である。また、窯跡の露出展示については、覆屋をする場合でも風化を防ぐため表面を樹脂等でコーティングする必要がある。

7 閉会

(以上)